

第三種郵便物承認 HSK（遊ぼうよNo.91） 通巻4870号 2018年11月10日発行

（寄稿）

## 「車いすで巡る七尾の旅 2017・in 和倉温泉」について

桶屋 善一

石川県七尾市内の取材活動を行う前は、自立生活体験を行った自立生活支援センター富山の協力で、富山市内の取材活動を行って「HSK季刊わたぼうし」の記事にしていました。富山市内の路面電車、ライトレールに乗り、富山市岩瀬浜まで行き、岩瀬浜の街並み、北前船、観光、岩瀬浜海岸の様子、富山市内の路面電車・環状線のバリアフリー状況取材していました。このことが、この活動の原点になっていると思います。

2009年に石川県金沢駅から七尾駅まで走っているJR七尾線の羽咋駅、七尾駅に階段昇降機が導入されたことに伴い、羽咋市内、七尾市内の公共施設の現状について、友人と写真撮影と取材を行い、各地の福祉まつりなどに展示を行いました。展示後、カラーコピーで10部程度、作成して友人等に配布しました。

この階段昇降機の取材活動、作品制作で美味しい味を覚え、デジカメを持ち、取材活動を行い、ワープロソフトで編集することが楽しくなりました。2年目から自分ではデジカメを持つことが出来ないで、富山市のNPO法人・自立生活支援センター理事長の平井さんが電動車いすにデジカメを固定する自助具を使っていたのを思い出し、私も入所している石川県七尾市にある障害者支援施設「青山彩光苑」の職員に説明して自助具を作ってください、ボランティアと取材活動を始めました。

しかし、自分では撮影出来ない部分が多いので写真撮影は、ボランティアに6年前から手伝っていただいております。ボランティアは一眼レフカメラなので、私の思いもつかないアングルで素晴らしい写真を撮っていただいております。

撮った写真を写真ソフトとワープロソフトで編集していましたが、数年前に広告会社でポスターなどを作っていた人が青山彩光苑の職員に入ってきました。その方にこれまでの作品を見せると「色を使い過ぎ、変形文字は使わない、余白をしっかりとる、もっとシンプルに作る」などポスター作りの基本的なことを教えていただきました。

それにプロの使うイラストレーターを教えてください、そこでレイアウトの基本を学びました。少し、高いソフトですが、中心点・揃える位置などを罫線で指示してくれるので、ポスターなどが簡単に作れます。富山生きる場センターでもイラストレーターを使っているようです。